

7-3 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果(2014年11月～2015年4月) Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (November, 2014～April, 2015)

産業技術総合研究所

Geological Survey of Japan, AIST

1. 観測概要

産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。宮川は深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置。深度256.78～267.66 mの滞水層での地下水位と体積温度計の計測も行なっている。跡津川は坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。地下水位と体積温度計の計測も行っている。

2. 観測結果概要

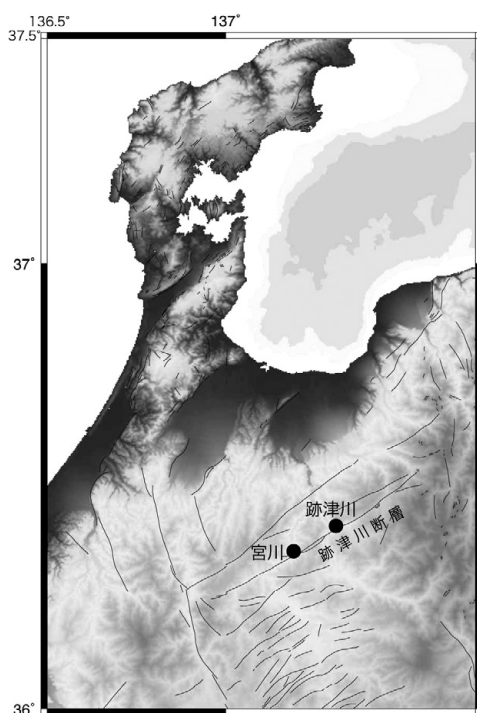
宮川(第2図)：水位，歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。

本期間内に発生した2014年11月22日長野県北部の地震 Mw6.2 時に $4E-9 \sim 2E-8$ 程度の歪ステップと約3mmの水位上昇が観測された。2015年4月25日ネパールの地震 Mw7.9 では、歪計のステップ及び地下水の変化は見られない。

跡津川(第3図)：水位，歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から数カ月周期の温度，歪の不安定な変動が続いている。

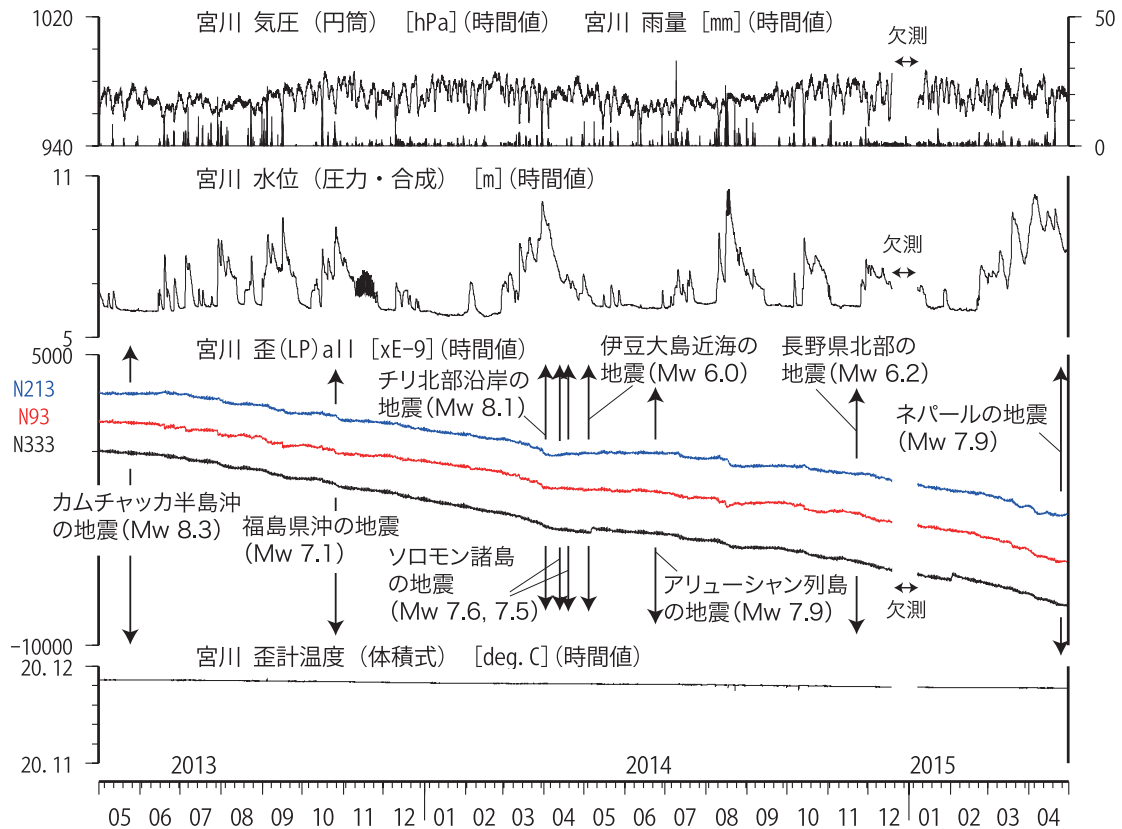
本期間内に発生した長野県北部の地震 Mw6.2 時に $1E-8 \sim 4E-8$ 程度の歪ステップと約4.3cmの水位上昇が観測された。ネパールの地震 Mw7.9 では、歪計のステップ及び地下水の変化は見られない。

(木口努・今西和俊・松本則夫)

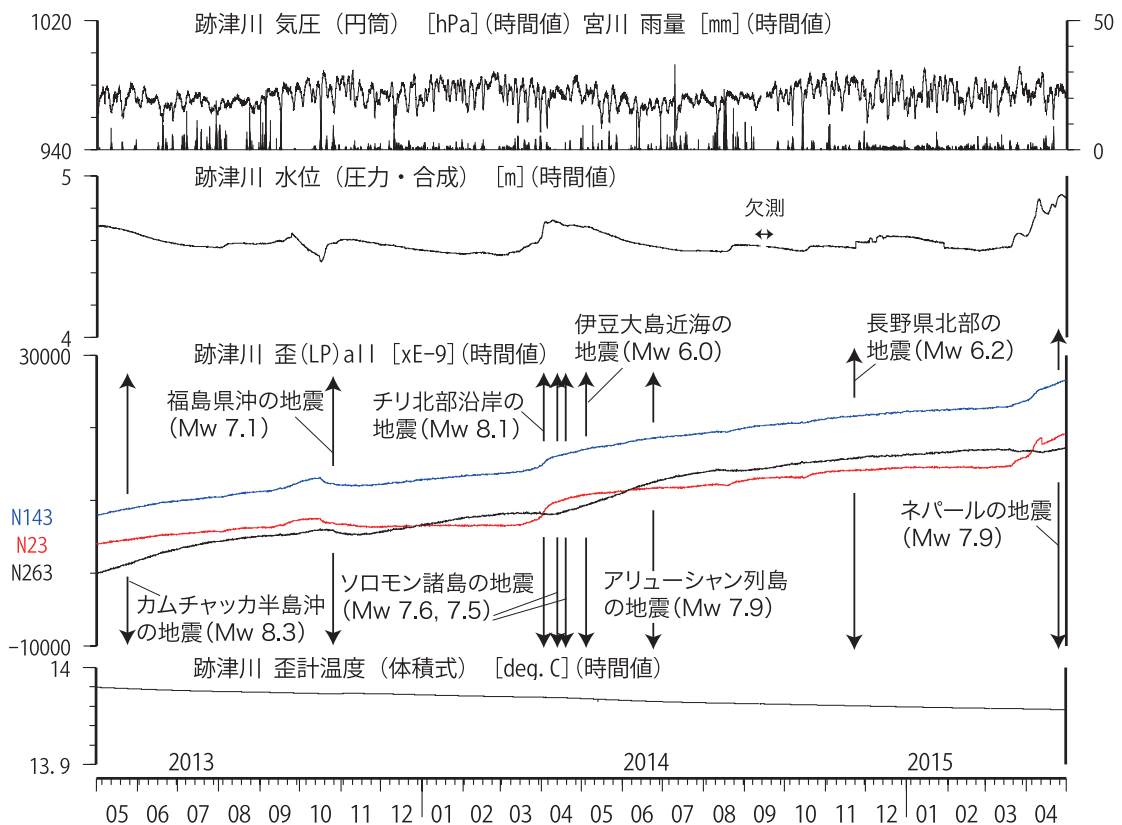


第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果（2年間）
Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 2 years).



第3図 跡津川における歪観測結果（2年間）
Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 2 years).